

## 会議報告書(要旨)

- 会議名 日向市総合体育館整備市民検討委員会 先進地視察及び第2回会議
- 日時 令和元年8月26日(月) 8:30~17:00
- 場所 【視察】アリーナくにとみ、清武町体育館 【会議】清武総合支所会議室
- 主催 資産経営課
- 出席者 市民検討委員会委員(11名、欠席8名)、事務局(5名)
- 協議内容 日向市総合体育館整備市民検討委員会先進地視察及び第2回会議を開催し、視察結果をもとに施設規模等について協議した。

## 【会次第】

## 1 開会

## 2 部長、課長あいさつ

## 3 事務局説明

- (1) 第1回市民検討委員会(7/23)協議結果について
- (2) 県内視察結果について
- (3) 基本構想素案について

## 4 意見交換

- (1) 基本コンセプト、基本的な機能について
- (2) 施設規模について

## 【主な意見(要旨)】

- (委員長) 本日視察を行ったが、現在の新しい体育館は自分が思っていたより進化しており、様々な機能が入っている。視察した感想をお伺いしたい。
- (副委員長) 資料3に掲載してある施設について、都城市のサブアリーナは、武道場と一緒に整備され、全国高校総体でバレーボールも開催されており、機能的にもすばらしい施設である。清武町体育館は、武道場が併設され、床も改修されているので、多くの市民や大会で活用されている。アリーナくにとみも、県内では都城市の次にいい施設であるが、空調がないのが残念である。空調を整備すると維持管理費や利用料がかかるが、熱中症対策を含めて、空調は必須である。駐車場が少なく、アクセスが悪いので、日向市で整備する場合は考慮する必要がある。佐伯市の総合体育館もサブアリーナがありいい施設なので、視察してもらいたい。サブアリーナがあると、いろいろな利便性があがる。サブアリーナを整備して、その部分を武道場にも活用できるようにしたらどうか。メインアリーナを2面、サブアリーナを1面にして、サブアリーナを多目的に利用できるようにしたらどうか。ステージについては、ある所とない所と半々であるが日向市は文化交流センターがあるので、文化行事はそこで行って、ステージは作らずにアリーナを広くしたり、他の機能を入れた方がいいのではないか。

- (委員)本日視察して、アリーナくにとみをモデルに整備したらどうかと考える。個人的には、体育館は、勝負する場、憩いの場、防災の場であると考えており、日向の場合、そんなに全国大会もないので、ある程度試合ができれば大規模な体育館ではなくても、くにとみレベルのこじんまりとしたものでいいのではないかと考える。規模が大きくなりすぎるのはどうか。
- (委員長)コンセプトをおさえておかないと、同じ体育館でも機能や規模に大きな差がでる。
- (委員)本日視察して、アリーナくにとみは備蓄倉庫が整備されているが、長期的に避難するのであれば、簡易ベッドが少ないように感じた。備蓄倉庫ももっと広くてもいいのではないかと感じた。
- (委員)大王谷運動公園に行ってみたが、災害時も踏まえて、大王谷に行くまでの道路計画が必要ではないか。日向の総合体育館は、新しい提案もしていかなければならないと思う。武道場整備は、サブアリーナとして使える点からでもいいのではないかと考える。清武体育館のピロティ形式の駐車場は、構造的に地震対策の面からも課題がある。
- (委員)現在の体育館は、空調は必須である。
- (委員)アリーナくにとみのレベルでいいと考える。スポーツイベントやスポーツ交流による交流人口の増加が見込める機能、防災の拠点としての機能が必要と考える。現在の体育センターは、着替えも含めてひよっこ踊りの講習をする場としても手狭になっているので、広い場所がほしい。
- (委員)国富は、アリーナくにとみの他にも体育館があるとのことだが、日向市では小中高の体育館を借用している状況であり、サブアリーナもほしい。トレーニング室はサンドームにあるが、体育館と一緒にあった方がいい。
- (委員)規模の理想としては、アリーナくにとみの規模でいいと考える。休憩スペースが広くとられていたが、利用する年齢層にもよると思うが、図書コーナーやキッズスペースなど、スポーツをしない人もいるので、体育館を利用する目的だけではない機能もあった方がいい。市民が行きやすく、幅広く利用できる場所であってほしい。
- (委員)都城図書館のように老若男女がつどえる多目的な施設にしてほしい。何か基本となるコンセプトを決めないといけないのではないかと考える。防災の観点からは、自家発や駐車場が必要となるが、スポーツをするだけなら体育的な機能で十分。日常使うのは市民。ほしい機能はいろいろあるが、コストや費用対効果的にどうなのか。また、大王谷という場所を考えると車のない人の交通手段や交通の利便性を考えなければならない。
- (委員長)アリーナくにとみの収支状況を伺うと、利用料収入では賅いきれず、市民の税金も充てることになり、規模でコストも変わってくるので、慎重な検討が必要である。
- (委員)プロ級の体育館はいらない。市民誰もがいつでも利用できる施設がいい。公共交通でぶらっとバスの利用なども検討するべきである。
- (委員)本日視察した2ヶ所とも、それぞれにいい所はあった。くにとみはバリアフリーで、全体的に余裕のある造りであった。しかし、中心地から離れているので、防災の面からは心配である。高台である大王谷の避難所としての位置づけや災害時のヘリポートなどの整備も必要ではないかと考える。
- (委員)車のない高齢者は大王谷へ行くことが難しい。

- (副委員長) 大王谷のどこに作るのか。プール跡地という話もあったが、高齢者の方は階段を上がるのが大変なので、駐車場はどうか。
- (事務局) 規模の共有ができれば、はまりきる場所に適地を検討していきたい。
- (副委員長) 防災拠点を主眼におくのであれば、イメージが変わってくる。先ほど言われたような意見等、様々な機能をいれるとコスト、維持費、運営に関わってくるので、議論が必要である。
- (委員) お倉ヶ浜のサンドームを活かしながら、体育館整備を考えるべきではないか。
- (副委員長) 大王谷とお倉ヶ浜は離れているので、それぞれの拠点性をいかして整備していけばいいのではないか。
- (委員) アリーナくにとみで空調があった場合、どれくらいの規模の大会の活用が可能なのか。
- (副委員長) 空調がある体育館は県内には少ないが、アリーナくにとみでも全国大会規模やプロの試合もできると考える。
- (委員長) 委員から様々な意見が出ているが、行政の立場から意見をいただきたい。
- (事務局) 防災の面で、一時避難場所は避難タワー等整備をしているところであるが、長期的な避難所が不足しており、高台の施設としては中学校、高校しかない状況である。新しい体育館が整備された場合は、長期的な避難所のひとつとして想定している。意見のあった詳細な機能については、基本計画策定時に検討することとなるが、どこまでの機能を持たせるかによって規模や運営状況も変わってくるので、検討が必要となる。
- (委員長) 資料4レベルの日向市案の体育館については、規模的にどうなのか。
- (副委員長) 観客席が少ないので、プロを誘致することは難しいが、中体連、高体連レベルの九州大会、全国大会規模であれば問題ない。武道場に特化しないで、サブアリーナ等多目的に使えるようにした方がいいのではないか。そうすると、メインアリーナと含めて、使い道が広がる。県武道場は畳を敷いて使用している。
- (委員長) 武道場を多目的に使うことはどうなのか。
- (委員) 剣道は板張りでもいいので、広さが確保できれば問題ないが、柔道は、使う度に畳を出すのは大変ではないか。
- (委員長) 武道場単体とするのか体育館と併設にするのかは重要なポイントなので、事務局で、多目的に武道場を使用している事例をコストも含めて、調べておいてほしい。
- (委員) 清武のように1階に駐車場というのは、耐震性に問題があるのか。
- (委員) 体育館は敷地面積も広く、柱も大きくなるので、耐震性に問題があると思われる。耐震、免震等工法はいろいろ開発されているので、全く検討できないわけではない。
- (委員長) 駐車場が他に確保できれば、構造的にしっかりしたものがないということである。大王谷で駐車場も含めて、今後レイアウトに対する議論も必要である。
- (委員) サンドームの建設に関わってきたが、利用状況として少ないのではないか。
- (事務局) サンドームの利用状況としては、年に約36,000人、稼働率は90%となっており、ミニバレー、フットサル、グランドゴルフ、幼稚園等の運動会、プロ野球等のキャンプ等、多くの方に利用して頂いている。

(委員) 体育センターが老朽化して建替えが必要なことはわかるが、市役所は新しくなり、津波浸水区域にあるのに、体育センターは廃止しても同じ場所に造らず、なぜ高台の大王谷に行くのか。もう少しちゃんと整理しないといけない。

(事務局) 次回会議までに、事務局で整理しておく。

## 5 その他

### (1) 今後のスケジュール

■次回開催予定 10月23日(水) 15:00～

資料は、別添のとおり。